

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会常任理事
釜 菴 敏
宮 川 政 昭
(公 印 省 略)

新型コロナワクチン接種後の副反応を疑う症状に関する研究への協力について
(再依頼)

国の研究者からの直接の協力依頼に基づき、専門的な医療機関において実施されている新型コロナワクチン接種後の遷延する症状を含めた副反応を疑う症状により受診した方の実態調査に関する研究については、[令和 5 年 2 月 17 日付日医発第 2185 号\(健Ⅱ\)](#) をもって貴会宛ご連絡いたしました。

今般、厚生労働省より各都道府県等衛生主管部(局)宛、同研究について下記のような対応等を通じて改めて情報提供、協力依頼をお願いする旨の事務連絡がなされ、本会に対しても情報提供がありました。

なお、研究結果の公表の際は、専門的な医療機関及び協力いただいた医療機関の機関数(総数)については公表する見込みとされております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のほどよろしくお願い申し上げます。

記

・医療機関に本調査の対象となる症例がない又は少ない場合について

新型コロナワクチン接種後の副反応を疑う症状の実態把握を行うに当たっては、症例がない又は少ない(1件など)場合であっても、そうした状況も含めて幅広く状況を把握することが重要です。分担研究班では電子フォームによる報告も可能といたしますので、症例がない等の場合も含めて、可能な限りご報告をお願いします。

・調査票の提出期限の柔軟な対応について

既に医療機関に対して送付されている調査票について、予定された日程で締切ますが、症例数の集積が重要であることから、締切後の調査票を受理する等、柔軟な対応を行うこととしています。具体的には下記の窓口にお問い合わせください。

<問い合わせ窓口(研究事務局支援担当者)>

株式会社アクセライズ(担当:北村文章)

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-1-1 千代田小川町クロスタ 8F

メールアドレス:ar22c2@accerise.co.jp

事務連絡
令和5年3月14日

各都道府県 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局予防接種担当参事官室

新型コロナワクチン接種後の副反応を疑う症状に関する研究への協力について
(再依頼)

新型コロナワクチン接種後の副反応を疑う症状に関する研究については、「新型コロナワクチン接種後の副反応を疑う症状に関する研究への協力について」（令和5年2月15日付け厚生労働省健康局予防接種担当参事官室事務連絡。以下「2月事務連絡」という。）において、その概要等をお知らせしたところです。症状の実態を適切に把握するためには、多くの医療機関から報告をいただくことが不可欠であるところ、以下のような対応等を通じて、引き続きご協力をお願いすることとしました。

各都道府県におかれては、研究に協力いただける医療機関への改めての情報提供及び協力依頼のほど、よろしくお願いいたします。

なお、研究結果の公表の際は、専門的な医療機関及び協力いただいた医療機関の機関数（総数）については公表する見込みですので、ご了知の程お願いいたします。

記

・医療機関に本調査の対象となる症例がない又は少ない場合について

新型コロナワクチン接種後の副反応を疑う症状の実態把握を行うに当たっては、症例がない又は少ない（1件など）場合であっても、そうした状況も含めて幅広く状況を把握することが重要です。分担研究班では電子フォームによる報告も可能としていますので、症例がない等の場合も含めて、可能な限りご報告をお願いします。

・調査票の提出期限の柔軟な対応について

既に医療機関に対して送付されている調査票について、予定された日程で締切ますが、症例数の集積が重要であることから、締切後の調査票を受理する等、柔軟な対応を行うこととしています。具体的には下記の窓口にお問い合わせください。

<問い合わせ窓口（研究事務局支援担当者）>

株式会社アクセライズ（担当：北村文章）

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-1-1 千代田小川町クロスタ8F

メールアドレス：ar22c2@accerise.co.jp

【参考（2月事務連絡でお知らせした研究概要等）】

・研究の概要

研究への協力を承諾いただいた専門的な医療機関に対し、新型コロナワクチン接種後の遷延する症状を含め、副反応を疑う症状により専門的な医療機関で受診した方の実態調査を行う予定としています。

・研究班の位置づけ

「新型コロナワクチン追加接種並びに適応拡大にかかわる免疫持続性および安全性調査（コホート調査）」（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）の分担研究班「新型コロナワクチン接種後の遷延する症状に係る実態調査」（分担研究者 国立国際医療研究センター 国際感染症センター長 大曲 貴夫、川崎市健康安全研究所 所長 岡部 信彦）として実施します。

以上